

このプリントは、全国や大阪府の学力・学習状況調査などで、小学生のみなさんが苦手としている問題を集めたものです。挑戦して、あなたのこれからの学習に役立ててください。

H19 全国 A問題

次の文章は、ある物語の一部です。この物語の中で、主人公のローワンは自分たちの住んでいるリンの村を救う者として選ばれました。ローワンは、村人が自分をどのように見ていると感じていますか。もっともふさわしいものをあとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

ローワンは、恐怖と孤独と恥ずかしさをどれも同じぐらいひしひしと感じていた。もう耐えられなかった。村人たちが痛ましげな目で自分を見ることに、耐えられなかった。だれもが、「なぜこの子なんだ？ リンの中でいちばんいくじのない子なのに」と思っているにちがいない。それなのに、運悪く村を救う者として選ばれてしまうなんて！みんなを失望させるしかできないのに！

(エミリー・ロッダ さくまゆみこ訳 『ローワンと魔法の地図』あすなる書房 による)

- 1 村人は、ぼくが一人できびしく生きていくことに耐えられないだろうと見ている。
- 2 村人は、村でいちばんいくじのないぼくが選ばれたことをかわいそうだと見ている。
- 3 村人は、ぼくが困っている村人を思いやることができる強い心を持っていると見ている。
- 4 村人は、ぼくが村の子なのだから村を救うものとして選ばれるのは当然だと見ている。

2

H22 全国 A問題

次は、『たったひとりの伝説』という物語のはじめで、「おじいちゃん」に届いた外国語の手紙を見せられた「ぼく」について書かれた場面の一部です。ア・イ・ウの中に入る人物を、本文中の言葉を使ってそれぞれ書きましょう。

「読まなくても、見るだけでいい」

おじいちゃんに言われ、ぼくは三枚の紙をひととおり見た。そして、

「やっぱり何を書いてあるか、わかんないよ」と言つて、すぐに紙をおじいちゃんに返した。

もしもそのとき、部屋に母さんがいたら、とんでもないことになっていただろう。アはこれくらいのことでも、顔を真っ青にしてイにあやまるか、さもなければ真っ赤になって、こんなふうに言つてウをしかる。

「なんですか、その態度は。おじいさまに『やはり、分かりません』と言いなさい！」

でも、母さんはそこにはいなかった。(齊藤 洋『たったひとりの伝説』による。)

ア 母さん

イ おじいちゃん

ウ ぼく

次は、お菓子をつくっている美奈を主人公にして書かれた物語の一部です。文章の表現のくふうについて説明したものととして、もっともふさわしいものをあとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

美奈は悲鳴をあげた。スポンジケーキが焼きあがるはずだったのに、オーブンからでてきたものは真っ黒な炭だったからだ。美奈は、このごろ日曜日にはお菓子づくりに専念している。先週はクッキーを焼いた。できあがったものは、みょうに歯にくっつくクチャクチャしたガムのようなものだった。そのまえの週は、ドーナツをあげた。おいしそうなきつね色にあがったのに、中は空洞だった。そのまえはプリンをつくった。ポソポソとしたスポンジみたいだった。それもこれも、今年のクリスマスには、友だち同士で手作りのお菓子をもちよつて、パーティーをすることになったからだ。まったくだれがいいだしたんだろう。わたしではなかった。美奈は、ため息をついた。

(柏葉幸子『大ばあさんの不思議なレシピ』による。)

【表現の工夫】

- 1 美奈と友だちとの関係が分かるように、それぞれの性格や考え方を書いている。
- 2 美奈が体験したことを、ほかの登場人物に対して語りかけるように書いている。
- 3 美奈が取り組んだお菓子づくりのことを、つくった順序のとおりに書いている。
- 4 美奈がお菓子をつくるたびに失敗してしまう様子を、たとえを使って書いている。

4

H22 全国 A問題

次は、今村さんの家に配られたお店のちらしです。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

**スーパーマーケット★まちかど★**  
営業時間 午前8時～午後8時

**お客様感謝セール**  
5月12日(土)・13日(日)の2日間！！

 おにぎり 110円が <b>80円</b>	 サンドイッチ <b>半額</b>	 ショートケーキ <b>20%引き</b>
 クリームパン 150円が <b>98円</b>	 いちご1パック (お一人様1パック限り) 30%引き <b>294円</b>	 コロッケ 1個70円が 2個で <b>100円</b>

(消費税込み)

**セール期間中 (12日・13日とも)  
食パンを100名様にプレゼント**

 **みなさん、ぜひおいでください!** 

課題

目的に応じて必要な情報を取り出し、それらに関係付けて読むこと。  
複数の資料を関連させて読むこと。  
非連続テキストを含む資料の内容を読み取ること。

物語を読むときは、登場人物、場面設定、何が起きているのかなどと、内容だけでなく、表現や構成にはどのような工夫があるのか、考えて読みましょう。

ちらし、パンフレット、ポスターなどを読むときは、見出し、強調されていること、絵や図で表されていることに特に気をつけて読みましょう。



2

今村さんは、このお店のちらしの内容を友だちに説明しようと思います。その説明として、ふさわしいものを次の1から4までの中から一つ選び、その番号を書きましよう。

- このお店は、夜九時に行っても買い物をする事ができる。
- サンドイッチは、ふだんの一つ分の金額で二つ買うことができる。
- セール期間中、お客様全員が必ず食パンをもらうことができる。
- お客様感謝セールは、毎週土曜日と日曜日に行われる。

上野さんの学級では、マナーに関する本を読んで、自分の考えをまとめることにしました。上野さんは一冊の本を読んだ後、本の「はじめに」と「おわりに」とを合わせて読んで、内容を確かめることにしました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

※段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

はじめに

1 みなさんは、家でも学校でも「食べるときには、いただきますと言いなさい」「電車ではお年寄りに席を譲りなさい」などと、教わりますね。もしかしたら、学校のクラスで「こういうときは、どうしたらいいのか」とマナーやルールを考える授業もあるかもしれません。みなさんは、そういうとき、正しいマナーがわかるでしょうか。

2 正しいマナーなんて、簡単ですね。誰でもわかることばかり。みなさんも、きっと、心のなかで「そんなこと、あたりまえじゃん」とおかしく思いながら答えているのではないのでしょうか。

3 でも、よく考えてみてください。あたりまえのマナーを、あなたは、家や学校でほんとうにやっていますか。頭ではわかっていても友だちに「ごめんね」と言えなかったり、宿題をやるうやろうと思いつつテレビを見ていたりしませんか。

4 マナーは、知っているだけでは足りないのです。ちゃんと行動して、言葉にだして、できるようになって、はじめて「マナーOK」なのです。「知識一〇〇点、行動〇点」よりも、「知識五〇点、行動五〇点」の人のほうが、ずっと立派です。

おわりに

1 最初に、マナーは実践するのがたいせつだ、と書きました。つまり、知っているだけでは足りなくて行動するのがたいせつなんだよ、ということでした。ところが、さらにマナーやルールには、もうワンランク上のむずかしい点があるわけです。

2 なぜ、むずかしいのでしょうか。それは、マナーやルールは、自分だけのことでなく、人と人との関係を支えるものだからです。大人の用語で言えば、「社会的な人間関係の潤滑油」だから、と言えます。

3 マナーは自分中心ではなく、相手中心に考える気持ちからはじまることなのです。だから自分の気持ちや行動だけを考えていては、相手とずれることも出てくるのです。相手のことを思い、相手の様子に気づくことから、人と人との仲よく過ごすために役に立つ、すてきな行動がはじまるのです。

※1「ワンランク」……「1つの段階や順位」  
※2「潤滑油」……「物語をうまく運ぶためのなかたちとなるもの」とも。

上野さんは、「はじめに」と「おわりに」の中に書いてある筆者の考えを次のようにノートにまとめました。あとの問いに答えましょう。

「上野さんのノートの一部」

① 「はじめに」の中に書いてある筆者の考え  
「知識一〇〇点、行動〇点」よりも、「知識五〇点、行動五〇点」の人のほうが、ずっと立派です。

A

人のほうが立派である。

② 「おわりに」の中に書いてある筆者の考え  
マナーやルールには、もうワンランク上のむずかしい点があるわけです。

B

さらに、マナーやルールのむずかしい点は、

(1) 上野さんは、A部を自分の言葉で書きかえることにしました。

(2) 上野さんは、B部をよく理解するために書きかえることにしました。  
Bの中に入るふさわしい内容を筆者の考えに合わせて書きましよ。書き出しの言葉に続けて、**六十字以上八十字以内**にまとめて書きましよう。

人と人との関係を支えているものだから、自分の気持ちだけを考えて行動しては、相手とずれてしまつてしまつてしまうという点である。

さらに、マナーやルールのむずかしい点は、